

京都認知症カフェ連絡会アンケート調査
緊急事態宣言解除後のカフェの開催・運営について 速報（令和2年6月1日時点）

回答カフェ数 24 カフェ

1. 緊急事態宣言が解除されましたが、カフェ再開の予定はありますか

ある (13) ない () わからない (未定) (11)

① 開催予定日（いつから開催等）について。

・6月から再開
・開催場所が高齢者施設なので、目途はたっていない。
・6月開催分（6月28日）
・7月から
・6月20日
・感染拡大のリスクが更に低くなった段階で。
・6月21日
・6月4日～
・再開を前提に考えておりますが、日程については決まっていません。今月は中止です。
・7月より再開予定
・6/1～再開します
・6月サロン～開催（実施日：6/24）

② 開催にあたり留意される点、また、変更するプログラムの有無について

・時間を短縮する。(1時間半⇒1時間)
・飲食の提供の中止(飲み物は持参をお願いする)※参加費を無料とする。
・ミニコンサート(歌唱)を中止しバックミュージックをかける。
・参加者については事前申込み制とし、人数を制限する。
・換気、マスクの着用、消毒、席の配慮(距離をあける)
・会場によっては、場所を変更する。
・未定
・ 開店時間の短縮 2 時間 1 時間 30分
・ボランティアさんのイベント 演奏、手品 などの中止
・感染予防の対応 マスク、手指消毒、送迎車両の消毒、換気など
・一般来店者の来店制限
・座席配置など
・受け入れ人数の上限設定
・プログラムについては外部講師や団体は検討せず、時間を短くして「交流」をテーマに実施
・普段はハーモニカに合わせて歌の時間があるがそれは中止した。
・十分な感染対策
・三密とならないプログラムを模索中

<ul style="list-style-type: none"> ・開催場所を変更（京都府立植物園）
<ul style="list-style-type: none"> ・マスク着用、席の間隔を空ける、換気をしっかりする、備品・その他のアルコール消毒を行う ・体操及び作品作り、脳トレとする。（大きな声を出さない）
<ul style="list-style-type: none"> ・前回スタイルを踏襲することは難しいとの認識です。いわゆる3密を避けるために1回の参加者数を限定する必要があるのではないか、と思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの変更はありません。コロナウイルス対策として① マスク着用 検温・手指消毒 ② 連絡先の記入（任意）③ 座席の配置を変更
<ul style="list-style-type: none"> ・茶話会で使うおかしを個包装にする ・体調不良の方は原則お断りする ・手洗い、うがい、手指消毒の実施 ・おやつ作りのプログラムなどは暫く実施せず
<p>○留意点：3密を避けた対応の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者及びスタッフ全員に対し、事前の体調確認、検温、マスク着用、手指の消毒を行う。 ・第2週目については、会場をより広い会場への変更や、本人交流と家族交流の会場を分けての実施を検討している。 <p>○プログラムの変更：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶話会について 第2・4週とも実施していた茶話会での茶菓子と飲み物の提供を、当面（年度内）は1人1本ペットボトル飲料の提供のみとし茶菓子の提供はしない。また、提供する飲み物以外が良ければ各自で飲み物を持参してもらう。 茶話会時のテーブル設定は、これまでのような密な交流を避けて、机の増台や卓球台を使用した設定とする。また、マスク着用では相手の表情が分かりにくいいため、不安を和らげる工夫としてフェイスシールド（センターで作成し貸し出す）を使用する。 ・卓球について ソーシャルディスタンスを考慮し、シングルスのみでのプレイにする。 ・テーブルバレーについて（机2台使用しテーブル上で行う卓球バレーのようなもの机を4台に増台する等、ソーシャルディスタンスが確保できるよう工夫する。

3. 「ない」、「わからない」と回答されたカフェに伺います。

① 開催できない（しない）理由について差し障りない範囲でご回答ください。

<ul style="list-style-type: none"> ・法人の新型コロナウイルス感染症対策が継続中のため。
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市から老人福祉施設にあつては引き続き感染拡大防止徹底の方針が出されているため。
<ul style="list-style-type: none"> ・6月は様子見。7月から再開できないか検討している。
<ul style="list-style-type: none"> ・登録者、ボランティアの方々に高齢者が多いため。 ・感染予防対策が万全でないため。
<ul style="list-style-type: none"> ・行政の受託事業であり社協判断による実施は困難。
<ul style="list-style-type: none"> ・3密が守れない状況。場所の変更と安全に会話できる状況を検討したい。 ・解除され日数も経過していない中で安心して実施できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度からプログラムを見直す予定だったが、年度末から打ち合わせそのものが進められていない。 ・ソーシャルディスタンスを保ちながら集う・交流する最適な運営方法がまだ見当たらない。

<ul style="list-style-type: none"> ・今後、今回同様集うことが難しくなった場合でも代替的に提供できるプログラムも併せて考えておきたい
<ul style="list-style-type: none"> ・会場となるボランティアセンターが6月末まで閉鎖
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設で実施しているため ・実行委員会が開催できていないため
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者、職員間の適度な距離を保つことが困難。音楽タイムで歌ったり、デザートを提供したりすることにリスクがある。高齢者が集まる場のため感染・重症化のリスクも高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・5月25日付け京都市「感染防止対策の徹底の継続について」に従い、感染防止対策を継続実施、併設グループホームも、同通知に従い、引き続き面会制限を行っています。法人感染症対策本部でも協議を行い、5月29日付けでの対応として、6月19日までは「地域活動・会場貸出は原則中止」と判断。地域活動については、地域の役員さんや地域団体さんと十分な協議を行う事としているものの、会場貸出については、施設玄関が同じ、職員が日常的に使用する等共用する部分が多い為、同じく原則禁止としている為、カフェとして開催は見合わせている状況です。

② どのような条件を整えば開催できるとお考えですか。

<ul style="list-style-type: none"> ・上記対策が解除となれば開催予定。
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市の方針に従いながら開催を検討します。
<ul style="list-style-type: none"> ・配席はこれまで以上に距離をとり密着・密集しないようにし、窓の解放にて密閉を避ける予定です。プログラムは昨年度通り喫茶のみとするか、演奏ボランティアの楽器演奏を聴いて頂く程度に留められたらと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・検討中
<ul style="list-style-type: none"> ・行政の事業自粛要請の解除及び利用者、ボランティアの理解（三密を避ける対応、感染防止対策の徹底）
<ul style="list-style-type: none"> ・実施会場の変更と、コロナの終息。
<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルディスタンスを保ちながら交流できるプログラムや、代替えプログラム等一部でも打開策が見つかれば打ち合わせが進められる。
<ul style="list-style-type: none"> ・ある程度の予防法が示され、予防グッズ（マスク、消毒液、フェイスシールド、アクリル板など）が手に入れば。
<ul style="list-style-type: none"> ・参加者が安心して参加できる環境が整ったと実行委員会で判断した時
<ul style="list-style-type: none"> ・今まで「音楽（歌ったり）」「カフェ（食事しながら話をしたり）」「職員からのお話」の3本立てでやってきました。ですが、3点全てがリスクがあるため、まったく違う形でナイト開催できないのか・・・？とも思っています。また小さなカフェでアットホームな環境で行うことに意味がありましたが、適度な距離を保つことが必要であるため、どのようにしたら良いのか・・・わかりません。寄り添い、交わり、人の暖かさをかんじれるというところをカフェの良さとして開催指してきた部分もあるので、そもそもそれがいけない・・・となればどうしたらよいのか・・・。
<ul style="list-style-type: none"> ・京都市での面会制限が解除となることが大前提。その上で、情勢を鑑み、法人対策本部で判断していくこととなります。また、同カフェは、円になり、笑いヨガを実施していますので、解除となった上でも、今後の開催方法については協議が必要と考えます。

4. カフェ中止の期間の代替プログラム等取り組んでいたことはありますか。
(カフェ利用の当事者・家族との連絡、対話の方法等)

ある (13)

ない (11)

「ある」とお答えいただいたカフェに内容をお教え下さい。

・認知症の本人、家族、ボランティアにアンケートにて、カフェに求めること、アイデアを聞き取り調査した。電話やLINE、メールでの近況確認と事務所からのメッセージ配信。
・スタッフのメッセージと写真掲載の手紙を来店者さん宅に投函することになり、手紙を作成中。
・機関紙の郵送、電話連絡 不定期 など
・認知症カフェ利用者に対し、電話・訪問・便りの送付等により代替え対応を実施し、利用者、ボランティアのモチベーションの向上に心掛けた。
・① 訪問型カフェ ②手作りマスク・手作り飴・メッセージカードの手渡しや送付 *下記参照
1) https://www.kyoto-np.co.jp/articles/-/261103 京都新聞 5月29日朝刊 26面
2) 「facebook 認知症カフェいきいき」をご覧ください。
・月1回のお電話にて、近況、お困りごとについて確認。今後お困りごとなどの際にはご連絡頂くよう伝えた。
・カフェボランティアの方と6月に話し合い、今後の対応策など検討予定。
・脳トレプリントを週1回配布し、安否確認を行っていた。
・電話によって、ご様子を確認。
・広報誌に認知症についての相談窓口(電話対応)を掲載
・スタッフによる自宅訪問→玄関先で立ち話
・スタッフと来店者の書面による近況報告会(郵送)
・常連となっていた参加者への個別の中止連絡
・カフェ中止の連絡をさせて頂き、その際に体調確認等させていただきました。
・電話でのやり取り、安否確認程度…

5. その他(お困りの点、行政等への要望、カフェ連絡会への要望等)

・世間から見ると「不要不急」に見えると思うので、「高齢者がつどって…」というのはよほどコロナが収束してしまわないと、難しいように思う。が、屋外で何か行うなど、何らかの形で再開はしたいとは考えています。
・運動することが目的の介護予防事業については一方通行の情報提供にはなりませんが啓発用のリーフレットやDVDの配布等、代替案で対応出来ましたが、集うこと・交流することが主目的のカフェは代替策が見つけれないまま今日に至りました。一定の距離を保って集う方法は会場の条件や人数制限等で確保できると思うのですが、集うことそのものが難しくなったとしても何かしらの方法でつながりを絶やさない方法がないか、考えています。オンラインでの交流となるとご本人なり家族なりが環境が整ったうえで操作できることが前提となりますのでハードルが高く、すぐに取り組めそうにありません。ここで皆様の工夫がお聞きできると幸いです。

<ul style="list-style-type: none">・オンライン導入のサポート(物品を揃えるための補助、手引きの作成など)
<ul style="list-style-type: none">・他のカフェの運営状況をお聞きしたいと思っていたのでアンケートの集計結果をお待ちしています。状況調査をありがとうございます。
<ul style="list-style-type: none">・カフェ開催のガイドラインがあると良いと思う
<ul style="list-style-type: none">・他都市も含め、先駆的な実践・事例があればお教えいただきたいです。
<ul style="list-style-type: none">・どのような条件を整えば開催できるかというところに書かせていただいたようなことが今一番困っています。
<ul style="list-style-type: none">・今回、当事者や家族に連絡する中で今後の不安も多数聞き取りました。これまでは公共交通機関を利用していましたが、外出を控えるにともない公共交通機関の利用が減ったため、自粛解除で外出可能となってもこれまでどおり公共交通機関を利用できるのか不安であるとの声が複数名の家族から聞かれました。また、本人同士・家族同士の交流もできないとストレスが溜まり交流できる方法はないかとの意見もありました。このことから、当事者が歩いて行ける生活圏内での複数の居場所(カフェ以外も含む)が必要であると改めて思いました。今回のコロナだけでなく、今後もこのような事態を想定した事業実施が求められると思います。新しい生活様式における認知症カフェや居場所の活動について、新しい情報等をいただければと思います。
<ul style="list-style-type: none">・集約、ありがとうございます。